

1 1. 教育研究部門

(1) 教員組織

専任教員は平成30年4月に大学院工学研究科に配置換えとなったが、兼務として学術情報総合センター教員会議にも所属しており、全学共通教育科目の情報基礎等の講義を担当し、学情情報総合センターでの業務を行っている。平成26年10月に情報基盤センターが設置されたことに伴い、関係する教員は情報基盤センターについても兼務することとなり、全学ネットワーク等に関する業務は情報基盤センターにおいて行っている。

令和元年10月1日

部門等の区分	教授	准教授	講師	助教	計
図書館情報学	1	1	0	0	2
ネットワーク	0	2	0	0	2
コンピューティングシステム	2	0	0	0	2
データベースを含むメディアシステム	1	1	0	0	2
計	4	4	0	0	8

(2) 教育

2-① 教員の授業担当時間数

区分 \ 職名	教授	准教授	講師	助教
最高	10	14	0	0
最低	7	9	0	0
平均	8	8	0	0

2-② 他大学等への出講数

数 \ 職名	教授 准教授
人員 (延数)	0
コマ (延数)	0

2-③ 情報処理教育

平成8年10月の当センター開設時から平成14年度末まで、センター9階に設置された情報処理演習室等において一般情報処理教育の授業を行ってきたが、平成15年度から平成20年9月までは、新しく設置された全学共通教育棟の情報処理教室において授業を開講していた。平成20年10月より、システムの更新に伴って、再びセンター9階に設置された情報処理演習室等(平成28年4月より情報教育実習室)において全学共通教育科目の授業を開講している。また、令和元年10月より教育・研究用システムのOSを、これまで利用していたMac OS XからWindows10に更新した。授業は引き続き学術情報総合センターの教員が中心となって担当している。

センター5階に設置されたPCルーム(旧情報処理教育実習室)は、本来の実験室的な機能に加えて、自主的な学習・研究の場として、学生に開放している。

(3) 研究

3-① 著書・論文・学会発表等の冊数、点数、件数

区分 年度	著書	論文	学会発表	論文翻訳	科研費	その他の 外部資金	その他	公務の応職 ・兼職
令和元年度	1	11	24	0	7	4	16	7

- 注) 1 著書の項は、共著、編纂、監修等を含む冊数
 2 論文の項は、学術論文(原則としてフルペーパーで審査付きのもの)の公表数
 3 学会発表の項は、国際会議及び国内学会での論文発表及び口頭発表の件数
 4 科研費の項は、当該年度で受けた科研費(分担研究も含む)による研究の件数
 5 その他の外部資金の項は、当該年度で受けた外部資金による研究(科研費を除く)
 6 その他の項は、教科書、注釈、研究ノート、書評、学界展望、研究案内、研究資料紹介、マスコミ寄稿、(活字として公表された)講習会、研究会、座談会等の参加件数を含む。
 7 公務の応職・兼職の項は、公的な各種委員会等への参加の件数

3-② 在外研究・国内研究の状況

名称等 年度	在 外 研 究 員						その他 海外出張 海外渡航	国内研究
	本 学				文部科学省			
	A	B	C	D	長期	短期		
令和元年度	0	0	0	0	0	0	6	3

3-③ その他

空間情報に関連する、以下のとおりの国際活動を行った。

令和2年1月10日から1月11日まで、インド情報技術大学(インド)にて「Open Source Web-GIS Platforms」国際ワークショップ(参加者約80名)を開催した。

(4) センター業務

- (1) 学術情報基盤整備に関する企画立案及び実施
- (2) 教育研究用情報システムの設計・構築と運用管理
- (3) 教育研究に資するデータベースの設計・構築と運用管理